

新潟本社の取り組みについて

2017年7月12日
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

目次

1. 新潟本社の主な取り組み

広聴・広報活動

自治体避難計画の充実に向けた支援活動

地域活動

2. 新潟本社の活動状況

① 各戸訪問

② 東京電力コミュニケーションブース

③ 地域の皆さまへの説明会

④ トークサロン

⑤ 広告

⑥ 自治体避難計画の充実に向けた支援

⑦ 地域活動への参加

1. 新潟本社の主な取り組み（広聴・広報活動）

- 2015年4月の新潟本社設立以降、新潟県の皆さまのご不安や疑問におこたえできるよう、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ柏崎刈羽原子力発電所で講じている安全対策などの当社取り組みについて、立地地域をはじめ新潟県全域において広聴・広報活動を実施。

広聴・広報活動

項目	内容
① 各戸訪問	柏崎市と刈羽村にお住まいの皆さまから、ご意見やご要望を直接お伺いするとともに、発電所の安全対策の取り組みや免震重要棟の耐震性に関する問題などについてご説明・お詫びするため、5月末より新潟本社の社員が各戸訪問を実施。
② 東京電力コミュニケーションブース	上越・中越・下越地域それぞれに「東京電力コミュニケーションブース」を設置し、新潟県の皆さまからのご意見をお伺いするとともに、パネル展示等を通じて柏崎刈羽原子力発電所で講じている安全対策などをご説明。炉心溶融の公表遅れや免震重要棟の耐震性に関する問題などについてもご説明・お詫びを実施。
③ 地域の皆さまへの説明会	発電所立地地域にお住まいの皆さまを対象とした説明会を開催。
④ トークサロン	発電所立地地域にお住まいの皆さまを対象に、カルチャー教室と懇談会を組み合わせた対話活動を実施。
⑤ 広告	柏崎刈羽原子力発電所で講じている安全対策や当社の取り組みを、新潟県内のより多くの皆さまにお伝えするため、各メディアを通じた広報を実施。

1. 新潟本社の主な取り組み（避難計画支援・地域活動）

自治体避難計画の充実に向けた支援活動

- 原子力災害発生時における地域の皆さまへの避難支援策の具現化に向けて、原子力事業者として最大限ご協力するため「介護を必要とされる方々の避難支援」や「避難退域時検査（スクリーニング）の運営支援」など、様々な方策を検討。
- 2016年10月には、新潟本社内に被災者支援活動チームを設置し、避難に必要な車両を配備するなど、地域の皆さまの避難を支援する初期活動を速やかに開始できる体制を整備。

項目	内容
⑥ 自治体避難計画の充実に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> • PAZ・UPZ圏内自治体の避難計画の充実に向けた支援 • 原子力災害時の住民避難支援方策の具現化 • 被災者支援活動チームの設置

地域活動

項目	内容
⑦ 地域活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> • 新潟県内の各種ボランティア活動に継続して参加

2. 新潟本社の活動状況 (② 東京電力コミュニケーションブース入)

実施内容

- 上越・中越・下越地域それぞれに「東京電力コミュニケーションブース」を設置し、皆さまのご意見をお伺いするとともに、パネル展示等を通じて発電所で講じている安全対策や放射線など原子力発電全般についてご説明。炉心溶融公表遅れや免震重要棟の耐震性に関する問題などについてご説明しお詫び。
- 2015年10月以降、上越市で5回、長岡市・新潟市で3回ずつ、発電所のUPZ圏内である小千谷市や見附市で1回ずつ、新潟県内で合計13回開設しており、累計で3,477名の皆さまにご来場いただきました。

過去の開催実績

□ 上越市 (5回実施)

- ・上越市市民プラザ (2015年10月,2016年9月,2017年6月)
- ・上越市かきざきドーム (2017年2月)
- ・上越市浦川原区総合事務所 (2017年5月)

□ 長岡市 (3回実施)

- ・高野不動産駅前ビル (2016年3月,2016年9月)
- ・CoCoLo長岡 (2017年3月)

□ 新潟市 (3回実施)

- ・NEXT21 (2015年12月,2016年8月,2017年3月)

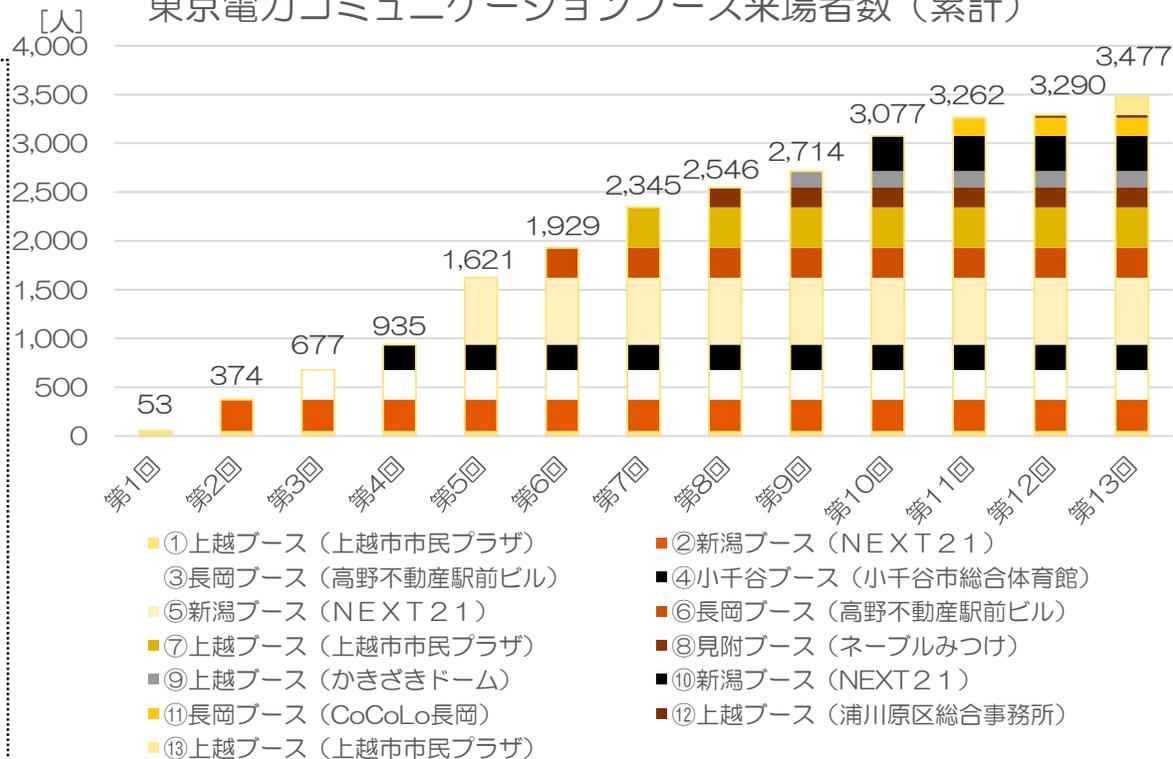
□ 小千谷市 (1回実施)

- ・小千谷市総合体育館 (2016年7月)

□ 見附市 (1回実施)

- ・ネーブルみつけ (2016年11月)

東京電力コミュニケーションブース来場者数 (累計)



2. 新潟本社の活動状況（③ 地域の皆さまへの説明会）

- 柏崎市と刈羽村において、柏崎刈羽原子力発電所の状況等をお伝えする「地域の皆さまへの説明会」を、2015年6月以降、柏崎市、刈羽村でそれぞれ3回ずつ、合計6回開催。
- 発電所の立地地域において、地域の皆さまからのご意見を伺い、発電所の状況や当社の取り組みをお伝えする貴重な場として、今年度も開催を検討。

開催実績（2015年6月以降）

□ 第7回

【柏崎会場】

日時：2015年6月9日
場所：柏崎市産業文化会館
来場者数：128人

【刈羽会場】

日時：2015年6月8日
場所：刈羽村生涯学習センター
「ラピカ」
来場者数：64人

□ 第8回

【柏崎会場】

日時：2015年12月21日
場所：柏崎市産業文化会館
来場者数：128人

【刈羽会場】

日時：2015年12月22日
場所：刈羽村農村環境改善センター
来場者数：44人

□ 第9回

【柏崎会場】

日時：2016年9月13日
場所：柏崎市市民プラザ
来場者数：79人

【刈羽会場】

日時：2016年9月14日
場所：刈羽村 高町地区集会場
来場者数：24人



2. 新潟本社の活動状況（④トークサロン）

- 柏崎刈羽原子力発電所の立地地域にお住まいの女性や子育てをされている方々を対象として、年間を通してトークサロンやカルチャー教室を実施。
- 発電所の取り組みをお伝えするとともに、立地地域の皆さまと新潟本社職員との対話活動を実施。

開催実績（2017.4～2017.6）

時 期	場 所	主な内容	参加者数
2017.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏崎エネルギーホール ・ 柏崎刈羽原子力発電所サービスホール 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トークサロン ・ カルチャー教室 	63名
2017.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏崎エネルギーホール ・ 柏崎刈羽原子力発電所サービスホール 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トークサロン ・ カルチャー教室 	22名
2017.6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刈羽ふれあいサロン「き・な・せ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トークサロン ・ カルチャー教室 	37名



トークサロン



カルチャー教室

2. 新潟本社の活動状況（⑥自治体避難計画の充実に向けた支援 1/2）

- 新潟県および県内自治体の避難計画の充実に向けて、原子力事業者として最大限の協力・支援を実施。
- 内閣府主催の地域原子力防災協議会での協議を踏まえ作成される「緊急時対応（広域避難計画）」に基づき、原子力事業者としての役割を確実に果たすべく、避難支援の具体化に向けた検討を推進。

実施内容

「被災者支援活動チーム」の運用開始

地域の皆さまの避難等に関する支援を行うことを目的として、2016年10月より新潟本社で「被災者支援活動チーム」の運用を開始。現在は新潟本部の社員約50名体制。今後、要員や内容の拡充を図る。

初期活動Ⅰ PAZ(概ね5km圏内)における避難支援活動

初期活動Ⅱ UPZ(概ね30km圏内)における避難支援活動

支援内容

- 介護を必要とされる方々の避難支援
- 福祉施設・病院、避難経路所の運営支援
- 避難退域時検査（スクリーニング）の運営支援

資機材の配備状況

- マイクロバス、福祉車両、車いす等

知識・技能の習得

- 新潟本部の全社員が介護技術セミナーを受講
- 大型自動車免許取得者36名



2. 新潟本社の活動状況（⑥自治体避難計画の充実に向けた支援 2/2）

避難支援への具体的な取り組み

- 原子力災害が発生した場合、PAZ圏内におけるマイクロバスや福祉車両による要支援者の方々などの避難支援、福祉施設・病院等の屋内退避施設の運営支援を想定。
- PAZ、UPZ圏内からの避難支援として、避難退域時検査、避難経由所等の運営支援を想定。
※支援規模や内容については、今後の地域原子力防災協議会等での協議の動向を踏まえて対応。

【訓練用車両の確保】

- 訓練用車両として、マイクロバス1台および福祉車両2台（車椅子タイプ）等を新潟市内に配備。今後も必要に応じて追加配備予定。
- 運転手についても当社から派遣
 - 現在、運転手の要員確保のため、新潟本部全体で社員の大型免許の取得を推進
今年度中に新潟本部社員の半数以上が取得予定（H28年度末:36名）

【避難支援に必要な知識・技術習得】

- 要配慮者への補助者を当社から派遣
 - 東電パートナーズ(株)から講師を招聘し、要配慮者避難支援活動に必要なケアサポートに関する知識や技術の習得を目的とする「介護技術セミナー」を開催
⇒新潟本部の全社員が受講



他電力会社との相互協力に関する協定の締結

- 先行して再稼働している事業者の取り組みも踏まえ、地理的近接性の観点から2016年9月に東北電力(株)との2社間、2017年3月に中部電力(株)及び北陸電力(株)との3社間、2017年6月に日本原子力発電(株)との2社間で協力協定を締結し、避難支援の充実を図っている。

参考：⑦ 地域活動への参加（2017.4～2017.6）

○クリーンナップ上越2017

- ・実施日：2017年4月16日（日）
- ・作業内容：高田城百万人観桜会の会場清掃
- ・参加者：新潟本部社員 計10名

○信濃川河岸段丘ウォーク

- ・実施日：2017年4月29日（土）
- ・作業内容：マラソン運営の補助
- ・参加者：信濃川電力所社員 計 4名

○柏崎潮風マラソン

- ・実施日：2017年5月21日（日）
- ・作業内容：マラソン運営の補助
- ・参加者：柏崎刈羽原子力発電所社員 計 8名
新潟本部社員 計10名

○第6回十日町市民協働の森づくり植樹祭

- ・実施日：2017年6月4日（日）
- ・作業内容：植樹のお手伝い
- ・参加者：信濃川電力所社員 計 3名
信濃川事業所社員 計 1名
新潟本部社員 計 5名



クリーンナップ上越2017



柏崎潮風マラソン

参考：⑦ 地域活動への参加（2017.4～2017.6）

○柏崎市えんま市会場早朝清掃

- ・実施日：2017年6月15日（木）、16日（金）
- ・作業内容：会場清掃
- ・参加者：柏崎刈羽原子力発電所社員 計 58名

○柏崎市えんま市会場への付き添い

- ・実施日：2017年6月15日（木）、16日（金）
- ・作業内容：特別養護老人ホームに入所されている方の付き添い
- ・参加者：柏崎刈羽原子力発電所社員 計 3名

○ONPO法人湯沢みどりの会 第18回植樹会

- ・実施日：2017年6月19日（月）
- ・作業内容：植樹のお手伝い
- ・参加者：信濃川事業所社員 計 4名

○柏崎市荒浜海岸清掃

- ・実施日：2017年6月20日（火）
- ・作業内容：海岸清掃
- ・参加者：柏崎刈羽原子力発電所社員
協力企業社員 計 107名



えんま市会場早朝清掃



柏崎市荒浜海岸清掃